



■ 報告：放射能汚染セミナー

「子どもと大地、そして放射能のお話」

～食品と土壌の汚染状況 & 放射能測定から見えてきたこと～

放射能汚染セミナー（講師：石丸偉丈）を10月11日（日）、サンフォルテで実施しました。参加者30名。回収アンケートから、「話がわかりやすくて良かった」との感想が多く、好評でした。

以下は、セミナーに参加した運営委員K・Mさんの報告です。

★★★★★

講師である石丸偉丈（ひでたけ）氏は、東京都国分寺市で2011年12月には放射能市民測定所「こどもみらい測定所」を開所、全国の測定所が積み上げてきた放射能データを手軽に検索表示できるようにしたインターネット上のデータベース「みんなのデータサイト」の共同代表および事務局長をも務められています。

難解な数字やデータと向き合うことが多いにもかかわらず、視覚障害の参加者へ説明の心配りができる、柔らかな人当たりの講師でした。



お話のテーマは、①データの読み解き方、②みんなのデータサイトが昨年秋からスタートした「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」のこと、そして質疑応答の過程で放射性廃棄物の管理、土壌が3桁4桁の数値を示す場所では被ばくするのか？、土壌汚染と作物への移行などについても、お話頂きました。

「1年を通して日本の国土を吹き渡る偏西風。それと太平洋側の原発で起きた事故だったゆえに日本国土の汚染は少ない方だった・・・これが日本海側の志賀原発はもちろん、新潟や福井の原発だったら、こんなものでは済まなかった・・・海から陸へ風向きが変わった3/15と3/21の汚染を測っているようなもの」との石丸氏の言葉に、あらためて衝撃を受けています。

放射性廃棄物の管理、汚染エリアの（風評も含め）作物売行き回復、事故近辺の自治体の崩壊など、1回の事故だけでも山のように後処理が発生。原発の再稼働なんて狂気の沙汰だとつくづく思います。

■ 「はかるっチャ」の年末年始のスケジュール

2015年、多くのご協力・ご支援を頂きありがとうございました。12月23日（水）から1月10日（日）までお休みさせていただきます。2016年は1月13日（水）から測定を始めます。来年もどうぞよろしくお願い致します。心温まる年末年始をお過ごしください。

■ 測定報告：「木灰」の放射能測定結果

今年3月、木質燃料（ペレット）の灰から、1910 ベクレル/kgの放射性セシウム 137 が検出されました。

その後、薪ストーブの灰など、木灰に関して6件の測定依頼がありました。測定の結果、以下の放射能汚染が検出されました。

●測定検体	●セシウム 137 濃度
A 広葉樹の端材を燃やした灰	572 ベクレル/kg
B 薪ストーブの灰	42 ベクレル/kg
C 囲炉裏の灰	124 ベクレル/kg
D 薪ストーブの灰	78 ベクレル/kg
E 薪ストーブの灰	71 ベクレル/kg
F 薪ストーブの灰	38 ベクレル/kg

測定した灰は、ペレットのときと同じく、すべてセシウム 137 だけが検出されています。木材を焼却した後に残る灰の放射性セシウム濃度は、100～150 倍に濃縮されているとのこと。

木材に微量な放射能汚染があっても、濃縮されて大きな数値が出てくると、今後、木灰の処理をどうするかが大きな課題となります。薪ストーブなど使用されているみなさん、灰の処理はどうしていますか？

**■ サポーター募集中.....
既にサポーターになって頂いている皆様へ
「年度更新お願いしま〜す」**

はかるっチャの測定業務は無償のボランティアワークによって行われています。また維持管理費および消耗品購入費、宣伝費などは、依頼測定からの収入と寄附金・サポーター会費（現在のサポーター数：個人70名、2団体）によって支えられています。

既にサポーターになっていただいている皆様には、会費の更新をお願いします。宛名ラベルの右下にサポーターになっていただいた年月が記してあります。それを目安にサポーター会費（2000円）の更新をよろしくお願い致します。



調査測定 「魚を測定しよう！」



（2016年1月～3月末まで）

測定料金無料

ハカハカ鯛の養殖のタラや鮭、刺身のマグロなどに不安を感じておられる方はいませんか？スーパーで販売されている魚が大丈夫かどうか知りたいと思ったら、ご連絡（070-5062-7334）ください。

はかるっチャでは漁場対象を全海域にした「魚」の調査測定を行っています。魚を測定試料として提供していただく場合は、測定料金が無料となります。

データ蓄積に皆様のご協力をお願いします。